

眼科

1. スタッフ (2018年4月1日現在)

科 長 (教 授) 川島 秀俊
副 科 長 (学内准教授) 牧野 伸二
外来医長 (講 師) 井上 裕治
病棟医長 (助 教) 新井 悠介
医 員 (准 教 授) 高橋 秀徳
助 教 渡辺 芽里
助 教 佐野 一矢
病院助教 富永 聡子
病院助教 坂本 晋一
病院助教 伊野田 悟
シニアレジデント 9名

新井 悠介
渡辺 芽里
佐野 一矢
坂本 晋一

2. 診療科の特徴

当院では、大学病院という3次医療機関である関係上、地域の医療施設と密接に連携体制をとり、急性期の治療を中心に診療を行っている。特に、専門外来（角膜、緑内障、ぶどう膜炎、網膜・硝子体、黄斑、眼循環、ロービジョン、弱視・斜視）を充実すべくスタッフ一同、常に最新の高度医療の導入に努力している。

診断面では、通常的眼科診療に必要な機器を完備しており、さらに光干渉断層計 (OCT)、ICG眼底撮影 (HRA II)、広角眼底撮影装置、前眼部三次元画像解析装置、等々最新の診断機器を備えている。

治療面では、中央手術室に眼科専用手術室を2室設け、それぞれに最新の超音波水晶体乳化吸引術装置 (インフィニティ)、硝子体手術装置 (コンステレーション) を設置し対応している。また、加齢黄斑変性に対しては抗VEGF療法を積極的に行っている。

当院では、電子カルテシステムが導入されている。眼科においては、さらに眼科サブシステムを用いて、画像データや手術スケジュールの管理、各種病態の説明に使用しており、効率がよく、医療安全の面からも有益なシステムを構築している。

・認定施設

日本眼科学会専門医制度認定施設
日本眼科学会専門医制度研修プログラム施行施設

・専門医

日本眼科学会専門医認定医
川島 秀俊
牧野 伸二
井上 裕治
高橋 秀徳
富永 聡子

3. 診療実績・クリニカルインディケータ

1) 新来患者数・再来患者数・紹介率

新来患者数 2,036人
再来患者数 32,680人
紹介率 94.1%

2) 入院患者数 (病名別)

病 名	人 数
白内障	983
眼内レンズ脱臼	6
網膜剥離	192
増殖性硝子体網膜症	6
糖尿病網膜症	118
黄斑円孔	66
網膜前膜	143
緑内障、高眼圧症	39
斜視	21
硝子体出血	80
角膜潰瘍、角膜裂孔	12
視神経炎	16
原田病	7
眼球破裂	5
急性網膜壊死	5
その他	141
合 計	1,840

3-1) 手術症例病名別件数

術 式	人 数
白内障手術 (白内障手術のみ)	1,042
経強膜網膜剥離手術	20
硝子体手術 (白内障同時手術含む)	718
緑内障手術 (白内障同時手術含む)	34
斜視手術 (小児・全麻)	23
角膜移植手術 (白内障同時手術含む)	6
その他	30
小 計	1,873
外来手術 (レーザー含む)	
眼瞼手術 (内反症、下垂症)	14
眼瞼手術 (その他)	12
結膜 (翼状片)	35
結膜 (その他)	19

眼窩	2
斜視手術	75
角膜手術	1
レーザー光凝固	1,287
その他	10
小計	1,455
合計	3,328

3-2) 手術術式別件数・術後合併症数

該当なし

4) 化学療法症例・数

該当なし

5) 放射線療法症例・数

該当なし

6) その他の療法（免疫療法）症例・数

ペーチェット病 11例

原田病 7例

7) 悪性腫瘍の疾患別・臨床進行期別治療成績

脂腺癌 5年生存率 100%

8) 死亡症例・死因・剖検数・剖検率

該当なし

9) 主な処置・検査

蛍光眼底造影、超音波画像診断装置、
前眼部及び眼底光干渉断層計（OCT）
超広角走査レーザー検眼鏡（OPTOS）
スペキュラーマイクロスコープなど

10) カンファランス症例

クリニカルカンファランス

毎週月曜日午後6時30分より

4. 2018年の目標・事業計画等

大学病院の眼科の使命として、教育・研究・臨床の3つを行うことが要求されている。

教育は、学生教育のみならず、専門医を育てる必要がある。最新の医療技術を安全確実に提供できる眼科専門医を養成する。

医学や医療の発展のために、単に日常診療のみに流されることのないよう、常に新知見を得る努力を怠らないように心がける。

導入されている最新の医療機器を有効利用し、重症患者に対する質の高い医療を提供する。